

【製造業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

パン製造業	<p>昨年の初年より新規取引先の受注を取りやめたために、売上高前年対比は 95%～96%となってしまった。原因は、人手不足が続いているからである。4月には、パート従業員の時給も昨年に続けて賃上げして人員の確保に努め、生産能力を高めたい。更に、新製品開発を強力に進め、下請けや卸販売の事業から脱皮して、インターネット販売を強化していきたい。</p>
オフセット印刷業	<p>ペーパーレスのために印刷物の減少。パソコンからコピーを行ったり、印刷物がなくなってきた。</p>
印刷業	<p>売上が月で一定ではなくバラツキがあるので、受注の多い月は残業等で対応しているが、先行き見通しが不明なため、従業員増をできない状況にある。</p>
理化学用・医療用 ガラス器具製造業	<p>新年度（4月）より値上げとなるメーカーが多く、仕入先でも対応しきれない状況のようです。弊社でも価格の改定を検討中ですが、そのことにより受注が減少することも予想され、先行きは不透明な状態です。</p>
鉄鋼業	<p>人件費増加（固定費増加）に対する問題解決がなされていない。高付加価値商品の販売ルート及び高付加価値商品をプロダクトする技術向上が遅れている</p>
建設用金属製品製造業	<p>弊社製品の一部を海外へ輸出しており、直近の急激な円高は企業収益に大きな影（悪影響）を及ぼすものであり、このような急激な変動がないよう政治の方で対処してほしい。</p>
建設用金属製品製造業	<p>昨年同時期に比べ、売上高、採算とも良い数字を確保している。この先の見通しもある程度良い感じを受けている。よって今の状況が持続できるよう気を引き締めて業務にあたっていきたいと思う。また、今現在、人員は適正であるが、将来のことを考えると徐々にでも人員の確保は必要だと思っている。</p>
製缶板金業	<p>関心事項として最低賃金の上昇傾向を懸念する。</p>
物流運搬設備製造業	<p>今年6月以降の景気の先行きが心配です。国道のトラック移動の減少。タクシー運転手の話を聞いても減少とのこと。</p>
建設機械・鉱山機械 製造業	<p>当社は建設資材管理・修理・レンタルを業務としています。昨年11月頃より杭改ざん問題で業界が自主的に国交省と相談し、基礎工事監理指針案が発表されたのが2月1日です。このことによって業績が上向いて行くと思っています。</p>
生産用機械・同部品 製造業	<p>例年より仕事量が減少している。世界経済が低迷しているため、景気後退を金融緩和で支えようとしているが、先行きは不透明。</p>
生産用機械・同部品 製造業	<p>工学部を有する大学との会社説明会の機会を望みます。</p>
理化学機械器具製造業	<p>昨年同期に比べ売上高は増加しているが、今後は中国の景気減速、円高などの影響により減少すると予測される。</p>
集積回路製造業	<p>社員につきましては、本年2月にポリテクセンターから1名、高度ポリテクセンターから1名計2名採用した。リーマン後、社員採用を控えていましたが、若い社員を入れ、育てていかないと40代、50代ばかりでは、先を考えると発展がないと思い採用した。3月～5月の先行き見通しですが、2月10日に高度ポリテクセンターにおいて、企業に声をかけ、瞬時震圧低下保護装置のセミナーを開催した。出席者の中で販売をしていきたいとの声が上がっているの期待をしていきたい。</p>